

2015年度 BCOJ ボード委員会 活動報告

2015年12月

ビール酒造組合 国際技術委員会

議長 相澤 正幸

2015年度のビール酒造組合国際技術委員会（Brewery Convention of Japan、以下 BCOJ）ボード委員会の活動につきまして、以下のとおりご報告いたします。

記

2015年度の国際技術委員会は、下記のメンバーで活動した。

議長	相澤 正幸	（アサヒビール株式会社）	
ボード委員	中村 剛	（サッポロビール株式会社）	
	秀島 誠吾	（サントリービール株式会社）	
	横山 昌人	（麒麟ビール株式会社）	2015年9月まで
	平野 俊典	（麒麟株式会社）	2015年10月より
	平良 昭	（オリオンビール株式会社）	2015年9月まで
分析委員長	島袋 勝	（オリオンビール株式会社）	2015年10月より
	樋田 嘉典	（サントリービール株式会社）	
	プログラム委員長	白井 昌典	（サッポロビール株式会社）
ビール酒造組合審議役	蜂須賀 正章		2015年9月まで
	平井 浩一		
	藤田 敦		2015年10月より
事務局長	岸本 徹	（アサヒビール株式会社）	

【活動内容】

本年度も以下のとおり、ボード委員会、分析委員会、プログラム委員会、BCOJ 年次大会を開催し、BCOJ 活動の目的の実現に向けて取り組んだ。

< BCOJ 活動の目的 >

1. ビール醸造及び関連産業に於ける原料、資材、生産物を評価するための分析法の統一
2. ビール製造技術者相互交流による科学的、技術的研究の促進
3. 同様の目的を持つ他の国外及び国内の組織との協働

1. 海外関連団体との技術交流

(1) EBC (European Brewery Convention) congress への参加について

2015年5月24日(日)~28日(木)、Portugalにて開催されたEBC 35th congressに、相澤議長、樋田分析委員長、室分析副委員長、蜂須賀審議役、横山ボード委員、岸本事務局長がBCOJとして参加した。大会に合わせて開催されたEBC Executive CommitteeにBCOJ議長と事務局長が参加した。大会内の『Japan Session』では横山ボード委員が座長を務め、日本のビール社から4題が発表された。今大会のBest Presenterとして飯牟礼隆氏（サッポロ社）が選ばれ、日本のビール各社の技術水準の高さがアピールさ

れた大会であった。



Japan Session の様子



今大会 Best Presenter 賞 飯牟礼氏

(2) 2015 ASBC (American Society of Brewing Chemists) Annual Meeting への参加について

2015年6月13日(土)~17日(水)、La Quinta (California, U.S.A.)にて開催された2015 ASBC Annual Meetingに、相澤議長、樋田分析委員長、室分析副委員長、渡辺分析委員、平井審議役、岸本事務局長がBCOJとして参加した。渡辺分析委員がBCOJ共同実験結果(2014年度)のポスター発表を行った。BCOJ各社の缶を4ケースずつ(計20ケース)を今大会に寄贈し、大会期間中に会場で配布された。またASBC議長主催のBCOJレセプションに招待いただき、ASBCとBCOJメンバーが交流した。



ASBC大会へのビールの寄贈



ASBCとBCOJメンバーの交流

(3) BCOJ年次大会の開催とASBC議長の招聘について

11月5日(木)~6日(金)、星陵会館(東京)にて2015年度のBCOJ年次大会を開催し、加盟ビール各社、関係官庁、企業等から延べ約262名が参加した。本年度も、年次大会での発表~懇親会を通じて、魅力的な商品の開発や美味しさの実現、安全の確保等に関する技術的な知見の向上等を目的として、活発な技術発表、意見交換を行った。

ASBCから、議長(Dr. Christina Schoenberger)、副議長(Ms. Christine S. White)、旧議長(Dr. Thomas H. Shellhammer)をBCOJ年次大会に招聘し、ASBC議長より「A review about hop aroma in beer」の演題でスピーチをいただいた。

また、新規分析方法の導入ならびに官能評価技術の確立によりビール品質向上、BCOJの国際的発展に多大なる貢献をされた古庄重樹氏に、感謝の意を表しBCOJ功績賞を贈呈した。



ASBC 議長によるプレゼンテーション



年次大会招待講演



懇親会風景

2. 分析委員会による分析法の拡充

- ・分析委員会活動報告参照

3. プログラム委員会による技術交流および共同研究の促進

- ・プログラム委員会活動報告参照

4. ボード委員会の開催

(1) 第1回（4月：麒麟ビール（株）神戸工場）

- 議題：
- ・ EBC congress、ASBC annual meeting への参加について
 - ・ 2015 年 BCOJ 功績賞受賞者の選出
 - ・ BCOJ 共同実験について
 - ・ 東京大学との共同研究について
 - ・ 白鶴酒造（株）との技術交流

(2) 第2回(9月: サッポロビール(株)千葉工場)

- 議題:
- ・ EBC congress、ASBC annual meeting への参加報告
 - ・ BCOJ 共同実験について
 - ・ BCOJ 年次大会について
 - ・ キッコーマン(株)との交流

(3) 第3回(11月、星陵会館)

- 議題:
- ・ 2016年度BCOJ年次大会日程について
 - ・ BCOJ共同実験について
 - ・ BCOJ官能評価法の見直しについて
 - ・ 次年度予算の検討について

(4) 第4回(12月、ビール酒造組合)

- 議題:
- ・ 年次大会振り返り
 - ・ BCOJ共同実験の報告
 - ・ 2016年の活動予定について



4月 白鶴酒造(株)との交流



9月 キッコーマン(株)との交流

以上

(作成:事務局長 岸本徹)

ビール酒造組合国際技術委員会 (BCOJ) 事務局

〒104-0061 東京都中央区銀座 1-16-7 銀座大栄ビル 10F ビール酒造組合内

TEL: (03)3561-8386 (代表) FAX: (03)3561-8380 E-mail: info@brewers.or.jp

ホームページ: <http://www.brewers.or.jp/bcoj/index.html>

2015 年 11 月 27 日

2015 年度 BCOJ 分析委員会活動報告

分析委員会委員長 樋田 嘉典
副委員長 室 公志

2015 年度の分析委員会は下記メンバーで活動した。2015 年 1 月 1 日より 12 月 31 日の活動期間を通じ、分析委員会を 7 回開催した。

委員長 : 樋田 嘉典 (サントリービール(株))
副委員長: 室 公志 (キリン(株))
委員 : 大内 敦史 (アサヒビール(株)) 10 月まで
野場 重都 (アサヒビール(株)) 11 月から
宮城 剛 (オリオンビール(株))
渡辺 敬之 (サッポロビール(株))
石塚 祐輔 (サントリービール(株)) 2 月まで
澤田 美穂 (サントリービール(株)) 3 月から
服部 良太 (キリン(株)) 3 月まで
加藤 小百合 (キリン(株)) 4 月から

ビール酒造組合審議役 :

蜂須賀 正章 (サッポロビール(株)) 9 月まで
平井 浩一 (アサヒビール(株))
藤田 敦 (サントリービール(株)) 9 月から

1 . 2015 年度 BCOJ 共同実験

- ・「ヘッドスペース GC - MSD 法によるビール類中の低沸点香り成分分析」を実施した。
- ・BCOJ 各社、酒類総研(高橋正之先生)、宮城大学(金内誠先生)、アジレントテクノロジー株式会社、金陵電機株式会社、サーモフィッシャーサイエンティフィック株式会社、株式会社島津製作所の合計 13 ラボが参加した。
- ・データ解析の結果、本共同実験は成立した。本法は「BCOJ ビール分析法」に加えることを国際技術委員会に 2016 年 1 月末までに答申する。
- ・2016 年 WBC 年次大会でキリン社加藤氏よりポスター発表を実施する予定である。

2 . 2015 年度 BCOJ 勉強会

- ・9 月 14 日ビール酒造組合にて以下の勉強会を開催、参加者は BCOJ 各社及びビール酒造組合から 28 名が参加した。
演題 ; 「最新の食品中の異物分析事例と製造現場における異物混入防止対策について」
講師 ; アース環境サービス(株) 学術部 橋口宏史次長

3 . 国際協力活動

(1) EBC Analysis Committee

- ・5 月 24 日 ポルトガル・ポルトで開催され、委員長、副委員長及び蜂須賀審議役が出

席。

(2) Joint EBC/ASBC 会議

・5月26日 ポルトガル・ポルトで開催され、委員長、副委員長、蜂須賀審議役及び岸本事務局長が出席。

(3) ASBC Technical Committee Meeting

・6月12日 アメリカ・ラキンタで開催され、委員長、副委員長及び平井審議役が出席。

(4) ASBC Collaborative Trial

・ASBC より BCOJ 宛に NIBEM 法の共同実験への参加依頼があり、キリン社およびアサヒ社の2社が参加を決定。

4 . 情報公開活動

(1) 2014 年度 BCOJ 共同実験「Determination of Wheat Protein in Beer by FASPEK Wheat/Gluten(Gliadin) ELISA Kit II」について6月のASBC年次大会にてポスター発表を実施した。併せて本共同実験レポートの *J.ASBC* への掲載を依頼し、掲載された Vol.74, No.4, pp.370-371: 2015(doi.org/10.1094/ASBCJ-2015-0903-01)。

(2) 上記共同実験を元に以下の項目が BCOJ ビール分析法として新設された。日本醸造協会誌に投稿中。

「8.30 小麦タンパク質 - エライザ (グリアジン) 法」

(3) 2015 年度 BCOJ 年次大会にて分析委員長より分析委員会の活動紹介を口頭で行った。

5 . BCOJ 分析委員会中期計画

・2013 年末に策定した 2014 ~ 2018 年の中期計画に従って、活動を行っている。

・2015 年には BCOJ 官能評価法の改定を進めている。

以上
(文責 : 室 公志)

2015年度 プログラム委員会活動報告

メンバー(敬称略)

2015年度のプログラム委員会は、下記のメンバーで活動した。

委員長	白井昌典	(サッポロビール株式会社)
副委員長	稲留弘乃	(麒麟株式会社)
委員	加藤 拓	(アサヒビール株式会社)
	丸橋太一	(サントリービール株式会社)
ビール酒造組合審議役	平井浩一	(2015年9月まで)
	藤田 敦	
	野口勝弘	(2015年10月より)

活動概要

- ・ 2015年度のプログラム委員会は、計5回開催した。
- ・ 2015年度 BCOJ 年次大会は、11月5日、6日の2日間で開催し、262名の参加があった。大会での発表は、EBC 再演(オーラル4件、ポスター3件)、ASBC 再演(オーラル5件、ポスター3件(1件はBCOJ共同研究報告))、MBAA 再演(オーラル3件、ポスター1件)、ISSY 再演(オーラル1件)、招待講演(家戸教授)であった。質疑の質や量も高く、活気のある年次大会となった。大会開催については引き続き多数の方々から継続を支持されており、今後もより良い大会を目指していきたい。
- ・ 2008年6月より開始した東原和成教授(東京大学農学部生物化学研究室)との共同委託研究については、プログラム委員会がその企画、窓口となり、委託研究費用は0円として継続した。円滑な研究推進に向けて、必要に応じて研究室を訪問し意見交換を行った。

委員会

2月16日 東京大学 東原研究室訪問

委託研究進捗確認、2015年度の契約継続の打診

2月20日 第1回委員会(サッポロビール 北海道工場)

2015年度各委員担当確認、年次大会について、招待講演について、委託研究について

3月30日 第2回プログラム委員会(アサヒビール 四国工場)

年次大会について、委託研究について、プログラム委員会持ち回り会社について

5月14日 東原先生訪問 委託研究進捗確認、契約更新確認

6月25日 家戸先生訪問 招待講演 事前打ち合わせ

8月21日 第3回プログラム委員会(サントリー 登美の丘ワイナリー)

年次大会に向けた工程表確定、委託研究について

9月30日 東原先生訪問

委託研究進捗確認

10月13日 第4回委員会(星陵会館)

年次大会と懇親会の準備および運営に関する詳細内容確認、委託研究について

11月4日 年次大会前日準備

11月5、6日 年次大会

11月20日 第5回プログラム委員会(麒麟ビール 仙台工場)

年次大会振り返り、翌年の活動について

以上